

## 研究活動 Research Activities

### 大屋美那 / Mina OYA

#### [展覧会企画・構成・監修]

「ロダンとカリエール」展企画・監修(元ロダン美術館学芸員、現国立美術史研究所所長アントワネット・ル・ノルマン・ロマン、フランス美術館局長ロドルフ・ラベッティと共同監修、オルセー美術館学芸員エマニュエル・エラン監修補佐)、オルセー美術館、2006年7月11日-10月1日

「フランク・ブラングイン版画展」企画、国立西洋美術館、2006年9月12日-12月10日

「新収蔵版画作品展」企画、国立西洋美術館、2007年3月6日-6月3日

「国立美術館巡回展」(2007年開催予定)企画、姫路市立美術館、松本市美術館

「フランク・ブラングイン展」(仮称・2010年開催予定)企画、国立西洋美術館

#### [研究活動]

論文等:(Emmanuelle Héranとの共著)「Rodin et Carrière: une amitié」*expo. Auguste Rodin / Eugène Carrière* (Musée d'Orsay) カタログ所収、Flammarion / Musée d'Orsay刊行、2006年7月

口頭発表:「ロダンとカリエール」展講演会「1890年代のロダンとカリエール」国立西洋美術館、2006年5月20日

招聘:エール大学教授ティム・バリンジャー氏を招聘、講演会開催。「ラファエル前派:最後のロマン主義か最初の近代か?」国立西洋美術館、2007年2月3日

#### [調査活動]

収蔵作品調査:松方コレクション来歴、展覧会歴等調査(修復家佐々木直子と共同調査)

松方幸次郎および松方コレクションに関する文献調査、収集

他館等調査:「フランク・ブラングイン」展作品調査、Arents House (Brugge)、2006年7月12日

「フランク・ブラングイン」展作品調査、The Royal Academy of Arts (London)ほか、2007年3月12日-16日

旧松方コレクション作品調査、芦屋市個人宅、2006年8月30日

#### [教育活動]

非常勤講師等:春講座「ロダンとカリエール展」講師、早稲田大学エクステンション・センター、2006年4月20日-27日

東京大学教養学部「情報メディア表現論」講師、東京大学、2006年10月26日-2007年1月25日

一般への講演等:「いろいろメガネ:続・日曜日の美術館」講演会「知りたい。ロダン彫刻のこと、ブロンズ鑄造のこと。」国立西洋美術館、2006年7月30日

「時代を超える個性」展特別講演会「コレクションを熱く語る—草間彌生」静岡県立美術館、2006年8月20日

日本経営クラブ講座「松方コレクションについて」国立西洋美術館、2007年2月23日

#### [普及活動]

来館者案内:衆議院議員田中眞紀子氏、国立西洋美術館、2006年6月

パリ、ロダン美術館館長ドミニク・ヴィエヴィル氏、国立西洋美術館、2007年2月6日

来館グループ:毎日新聞社まいいいクラブ「ロダンとカリエール展講

座」国立西洋美術館、2006年4月4日

毎日新聞社新人研修会講座「ロダンとカリエール展をつうじて」国立西洋美術館、2006年4月5日

千葉大学美術史専攻大学院生レクチャー「ロダンとカリエール」展、国立西洋美術館、2006年5月12日

霞水会講座「ロダンとカリエール」展、国立西洋美術館、2006年5月17日

いちご会講座「ロダンとカリエール」展、国立西洋美術館、2006年5月27日

#### [執筆記事等]

「浮かびあがる共通性と独自性、『ロダンとカリエール』展」毎日新聞夕刊、2006年4月20日

### 河口公男 / Kimio KAWAGUCHI

#### [彫刻修復処置]

19世紀ホール彫刻ロダン作品8点修復処置(邊牟木尚美・河口公男)およびその免震化(簡易式免震滑り板装着・石台座展示)

#### [絵画修復処置](岡崎純生・河口公男)

Victoria Dubourg 作品1点

Alessandro Bedoli Mazzola 作品1点

#### [招待発表]

2006年度ゲッティ国際シンポジウム(ロサンゼルス)

“Seismic Isolation of The Gate of Hell”

Colloquium, Seismic Mitigation for Museum collections, 2006

J. Paul Getty Center, Los Angeles

#### [調査]

屋内彫刻用簡易式滑り免震実験調査

#### [発明特許]

「屋内彫刻用簡易式滑り免震板」の特許申請

#### [委員]

国立西洋美術館新館空調工事基本設計ワーキング

#### [クーリエ]

クロード・モネ《柳》=サンフランシスコ市立美術館レジョン・オブ・ホナー  
レオン・ブルーノ《キリスト降誕》=パラッツェレ・テ・マントヴァ

#### [調査出張]

中国アモイ・福州石材調査、2006年11月

上海・アモイ石材製品検査、2007年3月

#### [その他]

彫刻修復室強制排気設備工事

トラベリングフレームサンプル12種制作

川口雅子／Masako KAWAGUCHI

[情報資料室の活動]

研究資料センター公開運用

収蔵作品データ整備(版画、素描、書籍文字データ整備等)

収蔵作品管理システム改善

独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システム英文版正式公開

資料コーナー、デジタルギャラリー公開運用(デジタルギャラリーは2006年8月まで)

ファイルサーバー、ドメイン管理等

[研究活動]

論文:「国立西洋美術館におけるコレクション・マネジメント・システムの構築」『アート・ドキュメンテーション研究』14号、2007年、pp.47-55

記事:「IFLA(国際図書館連盟)ソウル大会美術図書館分科会と韓国の主要美術館の音声映像ガイド」『アート・ドキュメンテーション通信』71号、2006年10月、pp.5-8

「美術館図書館と新聞切り抜き」『ゼフェロス』29号、2006年11月

口頭発表:「国立西洋美術館におけるコレクション・マネジメント・システムの構築」、アート・ドキュメンテーション学会第17回年次大会、九州国立博物館、2006年6月4日

[調査活動]

研修:平成18年度公文書館等職員研修会、国立公文書館、2006年9月4日-8日

学会参加:IFLA(国際図書館連盟)ソウル大会、2006年8月20日-24日

他機関調査:ナショナル・アート・ライブラリー(ロンドン)、ウィット・ライブラリー、韓国中央博物館等

「ウェル.com美術館」プリント・オン・デマンド実験、2006年11月3日-19日

ホームページの改訂準備、調査

[外部資金]

平成18年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「国立西洋美術館所蔵作品データベース」

平成18年度ポラ美術振興財団助成「美術館アーカイヴズの方法論に関する基礎研究」

[その他の活動]

見学会受入れ:研究資料センター見学会、私立大学図書館協会東地区部会研究部レファレンス研究分科会、2007年1月23日

玉川大学非常勤講師、2006年10月-2007年3月

幸福輝／Akira KOFUKU

[展覧会企画・構成]

「ベルギー王立美術館展」、2006年9月12日-12月10日

[著書]

『ベルギー王立美術館展』展カタログ(共著)、読売新聞社、2006年

『16,17世紀西欧における版画出版と古代の受容』(科学研究費基盤研究(B)報告書)[共著]、2007年

[論文]

「『イカロスの墜落』をめぐるノート」『ベルギー王立美術館展』国立西洋美術館、2006年、pp.8-13

「ネーデルラントにおける古代の受容と「歴史意識」——ヒエロニムス・コックの版画出版活動を中心に」『16,17世紀西欧における版画出版と古代の受容』(科学研究費基盤研究(B)報告書)、2007年

[講演など]

「イカロスのゆくえ:ブリュッセル・オア・ノット・ブリュッセル」国立西洋美術館、2006年10月

「フランドル絵画とベルギー近代絵画」朝日カルチャーセンター、2006年9月

「4枚の絵:ベルギー王立美術館展への誘い」(全2回)早稲田エクステンションセンター、2006年10月

[調査活動]

「ルーヴル美術館所蔵17世紀ヨーロッパ絵画展」(仮称・2009年開催予定)の準備

[教育活動]

国立西洋美術館インターン制度による大学院生2名の教育および指導、2006年

早稲田大学文学博士論文審査委員

日仏美術学会査読委員

東京芸術大学美術学部非常勤講師

東京大学文学部非常勤講師

[普及活動]

「散逸ブリュッセル帰国」読売新聞朝刊、2006年8月24日

「フランドル絵画の黄金時代」『ベルギー王立美術館展』国立西洋美術館、2006年、pp.32-33

「森の中へ——ネーデルラントの森林表現」『ベルギー王立美術館展』国立西洋美術館、2006年、pp.100-101

「前衛と過去——400年のベルギー美術」読売新聞夕刊、2006年9月10日

「自国のアイデンティティをもとめて」聖教新聞、2006年10月4日

佐藤直樹／Naoki SATOH

[展覧会企画]

国立西洋美術館:「イタリア・ルネサンスの版画」展、渡辺晋輔研究員の補佐

「ヴァイルヘルム・ハンマースホイ」企画・構成・監修(2008年9月30日-12月7日開催予定/ロンドン、ロイヤル・アカデミー:2008年6月24日-9月7日)

[調査活動]

国立西洋美術館在外研修制度により、2006年6月28日から9月28日にデンマーク、ドイツ、イギリスに滞在。「ハンマースホイ」展準備のため以下の機関および研究員と共同で作品調査を実施した。

コペンハーゲン国立美術館:学芸課長カスパー・モンラッド

オアドロブゴー美術館:館長アンネ=ビルギッテ・フォンスマルク

ニューカールスベア美術館:学芸員ティネ・プリヒャー=モーリッツ

オーデンセ市立美術館:学芸課長アンネ・クリスチャンセン

ヘルシンキ、アテネウム国立美術館:館長マイヤ・タニネン=マティラ

ハノーヴァー、ニーダーザクセン州立美術館:館長ハイデ・グラーパー=アルパース

ハンブルク美術館:展覧会共同監修者フェリックス・クレマー

ロンドン、ロイヤル・アカデミー:学芸課長メリーアン・スティーヴンス

平成15-18年度科学研究費基盤研究(B)「16-17世紀西欧における版画出版と古代の受容」ドイツにおける版画と古代の関係について

[版画素描室の活動]

版画素描作品購入に関する業務(6月と12月)

版画素描展示室・小企画「祈りの中世——ロマネスク美術写真展」(2007年6月12日-8月26日開催予定)、写真家六田知弘氏との展覧会出品作品の選定、展示方法の協議

[研究企画室(10月より)の活動]

2005年度国立西洋美術館年報No.40の編集

国立西洋美術館研究紀要No.11の編集

展覧会企画計画の調整

インターンの活動計画の調整

[研究活動]

編集補助:『イタリア・ルネサンスの版画』展カタログ

論文:「デューラーとイタリア版画——ヤーコポ・デ・バルバリとマルカントニオ・ライモンディをめぐって」『イタリア・ルネサンスの版画』国立西洋美術館、2007年、pp.28-35

Dürer and Italian Engravings- A note on his relation to Jacopo de'Barbari and Marcantonio Raimondi, The National Museum of Western Art, Tokyo, 2007, S. 267-271.

「月食? C.D.フリードリヒによる三日月の表現をめぐって」『国立西洋美術館研究紀要』No.11、2007年、pp.37-48 (A Lunar Eclipse?: Regarding C.D. Friedrich's Depictions of Crescent Moons [Abstract], pp.49-50.)

[非常勤講師等]

上智大学文学部ドイツ文学科、「ドイツ・ロマン主義の美術」講座、2006年9月1日-2007年2月28日

陳岡めぐみ/Megumi JINGAOKA

[調査活動]

「コロロ 光と追憶の変奏曲」展の調査・準備

平成18-20年度科学研究費若手(B)「芸術遺産/資本の表象——19世紀仏の挿絵入り美術出版物に関する調査研究」

[口頭発表]

「海を渡る複製イメージ 明治日本とパリの国立東洋言語学校の書籍交換事業をめぐる調査報告」ヨーロッパ民族学研究会(2007年2月17日)

[教育活動]

法政大学非常勤講師(2006年4月-2007年3月)

高梨光正/Mitsumasa TAKANASHI

[展覧会企画]

国立西洋美術館:「パルマ イタリア美術、もう一つの都」(2007年5月29日-8月26日開催)

[研究活動]

論文:「国立西洋美術館所蔵ジョルジョ・ヴァザーリ《ゲッセマネの祈り》(P.1979-4)の来歴に関する調査ノート」『国立西洋美術館研究紀要』No.11、pp.25-35

[調査活動]

収蔵作品調査等:個人蔵旧松方コレクションの15~18世紀イタリア絵画及び素描(テンペラ板絵3点および素描17点)の来歴調査及び作者同定を含む美術史的調査

国立西洋美術館所蔵グエルチーノ《ゴリアテの頭をもつダヴィデ》(P.1998-1)のパルマのファルネーゼコレクションからの来歴に関する調査

国立西洋美術館所蔵エミリア派《ヴィーナスとクピド》(P.1962-3)のパルマ派作者および来歴に関する調査

[展覧会調査]

「パルマ」展開催準備のためパルマ・ピアチェンツァ歴史美術民俗文化財監督局にて15世紀から18世紀までのパルマ派の画家に関する調査

[その他]

パルマ・ピアチェンツァ歴史美術民俗文化財監督局客員研究員(国立西洋美術館在外派遣研修、2006年3月20日-8月31日)

イギリス、ギャルピン楽器学協会員

高橋明也/Akiya TAKAHASHI

「コロロ 光と追憶の変奏曲」展の開催準備・調査

「国立美術館巡回展」(仮称)の開催準備・調査  
ル・コルビュジエ建築世界遺産指定に関する調査

国立美術館外部評価に関する資料作成

青山学院女子短期大学非常勤講師

いわさきちひろ美術館運営委員

日仏美術学会常任委員

田中正之/Masayuki TANAKA

[シンポジウム・口頭発表]

「美術館とナショナルなるもの」日本学術振興会、人文・社会科学振興プロジェクト研究事業、第5領域横断フォーラム『ミュージアムに未来はあるか~その可能性と課題』、東京グリーンパレス、2006年6月29日(発表者・パネリスト)

「独立行政法人化後の国立美術館」大阪大学、コミュニケーション・デザイン・センター、2007年2月16日(発表者)

[調査活動]

ムンク展の調査・準備

[教育活動]

東京大学文化資源学科併任助教授

武蔵野美術大学非常勤講師

[その他]

美術史学会常任委員(委嘱、例会担当)

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

「Fun with CollectionいろいろメガネPart 2—みんなの見かた紹介します」企画・構成・実施、2006年4月1日-9月3日

「ベルギー王立美術館展」ジュニア・パスポート

インターンシップ・プログラム指導

ボランティア・プログラム指導

小・中学校教員のための夏期研修会の企画・実施

ファミリープログラム企画・実施

[報告書]

『こどものためのワークショップ』(共著)アム・プロモーション、2007年3月、「第4章 美術館の教育普及事業からみた知財」pp.62-75

[口頭発表]

「美術教育と鑑賞」東京都中学校美術教育研究会総会、東京芸術劇場、2006年5月26日

「生涯学習としての造形美術活動と連携の試み」第59回全国造形教育研究会、長野県社会福祉総合センター、2006年11月1日

[その他の活動]

2007年Fun with Collectionの準備・調査

日豪学芸員交流、イプスウィッチ・アート・ギャラリー館長マイケル・ベックマン氏招聘、2006年9月27日-10月9日

全国美術館会議会合共同企画および実施:

第31回会合、2006年10月5日(木)・6日(金)

第32回会合、2007年3月29日(木)・30日(金)

全国美術館会議学芸員研修会企画および実施:

第22回学芸員研修会「ボランティアの現状と理念」2007年3月29日(木)・30日(金)

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2006年4月-2007年3月

一橋大学大学院言語社会研究科講師、2006年10月2日-2007年3月23日)

武蔵野美術大学通信教育課程「造形ファイル」外部評価委員、2006年11月1日-2009年3月31日

財団法人日本海事科学振興財団評議員、2006年10月1日-2008年9月30日

村上博哉/Hiroya MURAKAMI

[展覧会カタログ論文]

「清澄な夢—松本竣介とアンリ・ルソー」『ルソーの見た夢、ルソーに見る夢』世田谷美術館・愛知県美術館・島根県立美術館、2006年10月

横山佐紀/Saki YOKOYAMA

[展覧会関係教育普及活動]

「ベルギー王立美術館展」作品和文リスト、作品英文リスト、作品解説パネル、講演会準備

「イタリア・ルネサンスの版画展」作品和文リスト、作品英文リスト、作品解説パネル、版画の技法解説パネル、版画の技法解説執筆(カタログ)、講演会準備

「バルマ展」プレスリリース用主題解説

「ムンク展」教育普及プログラム準備

[調査活動]

賛助会制度調査(資料調査および他館聞き取り調査、国内):

東京国立博物館

東京都写真美術館

新国立劇場

メンバーシッププログラム・ファンドレイジング調査:

アメリカ、ワシントンDC、2006年6月30日-7月8日

スミソニアン協会ナショナル・ポートレート・ギャラリー

フィリップス・コレクション

[その他講演会]

イェール大学美術史学部教授Tim Barringer講演会準備

[その他]

FUN DAY 2007企画・準備

OPEN Museumプロジェクト準備

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[展覧会企画・構成]

「イタリア・ルネサンスの版画—ルネサンス美術を広めたニュー・メディア」展、国立西洋美術館、2007年3月6日-5月6日

[研究活動]

著書:『イタリア・ルネサンスの版画—ルネサンス美術を広めたニュー・メディア』展カタログ

論文等:「イタリア・ルネサンス版画的創造性—展覧会の手引きを兼ねて」上記カタログ、pp.21-27

上記カタログ作品解説、作家解説、章解説

「複製版画と批評—ジュリオ・サヌート《アポロとマルシユアス》の場合—」『西洋美術研究』no.12、pp.213-224

翻訳:上記カタログエッセイ、作品解説、作家解説

研究発表:「複製版画と批評—ジュリオ・サヌート《アポロとマルシユアス》の場合—」鹿島美術財団記念講演会、2006年5月12日

[調査活動]

「ウルビーノのヴィーナス」展の調査企画(2008年3月4日-5月18日開催予定)

[教育活動]

非常勤講師:武蔵野美術大学非常勤講師、2006年4月-2007年3月  
先生のための鑑賞プログラム「イタリア・ルネサンスの版画」展概要説明、2007年3月16日

[外部資金]

「16-17世紀西欧における版画出版と古代の受容」(共同研究)

[その他]

版画素描担当キュレーター会議参加、シカゴ、2006年6月5日-8日